

渡良瀬川に沿ってトロッコが走る

わたらせ渓谷鐵道は、第三セクター転換の際にJR時代の足尾線から路線名を変え、「わたらせ渓谷線」を開業した。さわやかな風が吹き抜ける渓谷鐵道として、「わてつ」の愛称で親しまれている。

渓谷線という名のとおり、路線のほとんどは渡良瀬川に沿っている。起点の桐生を出ると、まず渡良瀬川を渡り、わたつの本社と車両基地がある大間々を過ぎ

る。その後、列車は渡良瀬川の右岸に寄り添うように北上し、草木湖の北端で第一渡良瀬川橋梁を渡って川の左岸へ。さらに栃木県に入り原向と通洞の間で第二渡良瀬川橋梁を渡って、足尾から、終点の間藤に至る。

通洞から間藤にかけては銅の産出で栄えた地域だ。前身の足尾線は、足尾銅山の鉱石輸送のために建設された。時代変わって、現在のわたらせ渓谷鐵道の主役は、渓谷美を楽しむトロッコ列車である。



登録有形文化財、青いトラスの第二渡良瀬川橋梁を行く
789-310形



789-310形(左)は富士重工業製のLE-Car。セミクロスシートでトイレ付き。313号の愛称は「わたらせII」。



2011年に登場した新潟トランス社製軽快気動車で、従来車から塗色の変更された。501号の愛称は「けさまる」。



2012年に登場した「トロッコわっしー号」用のトロッコ気動車。気動車のため機回しの必要がなく、素早く折り返せる。

LOCAL
TRAIN

04 わたらせ渓谷鐵道

わたらせ渓谷線

わたらせけいこくてつどう わたらせけいこくせん

かつて足尾銅山の鉱石を積んだ貨車が走った
渓谷の線路を、トロッコ列車が走る。
国鉄時代の駅舎や橋梁、谷を渡る風。
春夏秋冬それぞれにすばらしい鉄旅を満喫。

その他の車両

WKT510形は「トロッコわっしー号」とペアを組む。789-100形・200形・300形は廃車されたが、2両が大間々駅で保存されている。



わたらせ渓谷鐵道

わたらせ渓谷線

わたらせけいこくつどう わたらせけいこくせん

営業距離 44.1km 軌間 1,067mm 駅数 17
 電化区間 桐生～下新田信号場(JR東日本)
 非電化区間 下新田信号場～間藤
 運賃 ～2km 190円/トロッコ列車整理券
 510円/一日フリーきっぷ 1850円

事業会社 わたらせ渓谷鐵道株式会社

Webサイト <http://www.watatsu.com/>

CHECK LIST

路線

☐ 桐生～間藤 (わたらせ渓谷線)

車両

<気動車>

☐ W789-310形 / 5両 ☐ WKT500形 / 2両☐ WKT510形 / 1両☐ WKT550形(トロッコわっしー号) / 1両

<客車>

☐ わ99形(トロッコわたらせ渓谷号) / 4両

<ディーゼル機関車>

☐ DE10形 / 2両

<特別列車>

☐ トロッコわたらせ渓谷号☐ トロッコわっしー号 など

駅

☐ 花輪	4.1km /	<わたらせ渓谷線>
☐ 中野	1.0km /	☐ 桐生 0.0km /
☐ 小中	2.4km /	☐ 下新田 1.9km /
☐ 神戸	2.0km /	☐ 相老 1.2km /
☐ 沢入	7.0km /	☐ 運動公園 1.1km /
☐ 原向	5.3km /	☐ 大間々 3.1km /
☐ 通洞	3.2km /	☐ 上神梅 5.1km /
☐ 足尾	0.9km /	☐ 本宿 1.4km /
☐ 間藤	1.3km /	☐ 水沼 3.1km /

乗る

トロッコ列車

渡良瀬川の風を受け、
新緑や紅葉に包まれる



国鉄色の DE10-1678 に牽引される「トロッコわたらせ渓谷号」。

関東近郊でトロッコ列車といえばわたらせ渓谷鐵道、というほど、「わてつ」のトロッコ列車は有名になった。「わてつ」のトロッコ列車には2種類あり、3、4号が「トロッコわたらせ渓谷号」、1、2、5、6号が「トロッコわっしー号」（冬季は3、4号）だ。「トロッコわたらせ渓谷号」は、DE10形DLが牽引する4両編成の客車列車で、両端は元JRの12系客車、窓ガラス付き。中の2両は元京王電鉄の5000系電車を改造したトロッコ車両で、天井に草木トンネル内で点灯するイルミネーションを装備。「トロッコわっしー号」はWKT550形の自走式トロッコ気動車。WKT510形とペアで運転される。

見る

神戸駅



国鉄時代そのままの木造の駅本屋やプラットフォームは、国の登録有形文化財。構内に元東武鉄道のDRC1720系を利用した「レストラン清流」がある。

見る

吉ノ沢架樋



土砂や雨水が軌道敷に流入するのを防ぐため、古レールを用いて軌道敷をまたぐ形で架けられた樋で、国の登録有形文化財。沢入～原向間にある。

遊ぶ

足尾銅山通洞坑



足尾銅山の通洞坑が、足尾鉾山400年の歴史や仕組みを伝える観光施設になった。坑内見学は自走式のトロッコ電車に乗って。通洞駅から徒歩5分。